

2023年4月26日

就実大学大学院・就実大学・就実短期大学  
ChatGPT等の生成型AI利用に関する留意事項

教務課

2022年11月30日にChatGPTが公開され、メディアでも大きく取り上げられています。ChatGPTなどの生成型AIは、画像・動画・音楽・文章の作成、プログラムコードなどを、データ学習を通じて新たに生み出すことができるため、今後の社会にも大きな影響を及ぼすものと受け止められています。

私たちはこのような技術革新を避けることはできず、適切に利用していくことが求められます。

しかし、生成型AIはインターネット等の膨大な量のコンテンツを用いて機械学習を行うことで、ユーザーが求める回答を生成するものなので、その出力は、他者の著作物に基づく著作権の侵害や剽窃のおそれがあることや、誤りを含む内容も区別なく学習されるため、出力にも誤りが存在することが多いこと、また、ユーザーの質問自体もAIのデータ構築に利用されるため、個人情報の漏洩などにつながる可能性もあります。

学習に生成型AIを用いる際には、以上のような問題をはらんだ技術であることを十分認識する必要があります。また、生成型AIの出力を授業や実習のレポートとしてそのまま利用することは、自ら学習することを放棄することになり、場合によっては不正行為とみなされる可能性もあります。

以下に、本学の教育・学習における生成型AIの利用に関する留意事項を示します。

- ・生成型AIの出力をレポート等の解答にそのまま利用することは、特にその授業でそのような利用が指示されていない限り、原則として不可とする。
- ・自らの学習のための調査の一環として生成型AIを利用する場合は、生成型AIの出力の正誤について、一次資料にあたるなどにより、自身でしっかり確認すること。
- ・入力した内容はそのまま流出してしまうことを想定して利用すること。
- ・その他、授業における生成型AIの利用については、担当教員の指示に従うこと。

以上